

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年4月15日			
平成15年度	事業コード	13120	電話	042-769-8232
担当部課名	保健福祉部	子育て支援	課	児童手当
事務事業名	母と子のつどい経費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	63以前年度
施策名	第2施策	子育て支援の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
母子家庭の母親と児童を毎年1回バス旅行に招待し、日頃の労苦をねぎらうとともに楽しい一日を過ごしてもらうために実施する。	母子家庭の母親と児童
	対象数
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
実施年月日 平成14年7月20日 実施場所 東京サマーランド 参加人数 198人	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標								
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額		227	184		
	人員・時間数	0.2人・1年	0.2人・1年	0.2人・1年		
	人件費	1,856	1,856	1,856		
	その他経費					
	合計	1,856	2,083	2,040	0	0
特定財源						
対象数		238	242	198		
対象の単位あたり経費		7.8	8.6	10.3	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 C ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	一部の母子家庭の母親と児童の参加となっている。
(2)必要性 評価 B ▼	A：適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 参加している母子家庭世帯からは好評であるが、参加者数を考慮すると、必要性には疑問符がつく。
(3)有効性 評価 B ▼	A：有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 事業費に人件費を考慮すると、見合った効果は得られている。
(5)公平性 評価 C ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	母子家庭世帯の多くが参加できない。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 参加世帯を増加させるためには、予算上の措置が必要である。	手段	中核市移行に伴い県から移譲される事務の中に、同様な事務があるので、その事務と整理統合を図る。
		削減額	積算不可 千円

11 総合評価

評価 B ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 平成15年度当初予算編成にあたり、母子家庭の福祉増進のためには必要な事業であるので、県から移譲された「母子家庭等厚生生活動事業」と整理統合を図り、本事業は平成14年度をもって廃止した。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input checked="" type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--